

ゼネラル、公共向け情報通信システム事業を分社化 「ゼネラル GRANCAST」として新たに始動

株式会社ゼネラル(旧富士通ゼネラル)は、公共向け情報通信システム事業を分社化します。同事業は、2026 年 10 月 1 日から「株式会社ゼネラル GRANCAST」(以下「ゼネラル GRANCAST」)として新たに始動します。

当社の公共向け情報通信システム事業は、自治体や消防機関向けに、消防通信指令システムや防災行政無線システムなどの公共 ICT インフラを提供し、社会の安心・安全を支えてきました。今回の分社化は、自治体 DX の進展や防災・減災への社会的要請の高まりなど公共 ICT インフラ事業を取り巻く環境変化へ迅速に対応し、専門性の強化と事業成長を加速することを目的としています。ゼネラル GRANCAST は、これまで培ってきた技術とお客様との確かな信頼関係を礎として、より機動的な経営判断のもとで運営を進めます。

現在提供しているシステムおよび保守サービスについては、分社化後も継続するとともに、お客様との契約関係やサポート窓口についても円滑な移行を進めてまいります。また、当社の電気通信工事に係る建設業許可をゼネラル GRANCAST へ承継し、設計・構築から保守まで一貫して対応できる体制を維持します。これにより、社会インフラを支える事業に求められる信頼性を確保し、安定した事業運営基盤をさらに強化することで、より付加価値の高いサービスの提供を目指します。

ゼネラル GRANCAST は、長年にわたり築いてきた「ゼネラル」の信頼を受け継ぐとともに、消防・防災システムで展開してきたブランド「GRANCAST」を社名に冠しました。「GRANCAST」は、「GRAND(壮大な)」と「CAST(役割)」を掛け合わせた名称であり、「社会に対して大きな役割を果たす」という想いを込めています。同社は「安心・安全の未来を共に作る」を基本方針に掲げ、AI やクラウドなどを活用し、消防・防災分野におけるシステムの高度化を図るとともに、自治体の防災に貢献する新たなソリューションの創出に取り組んでまいります。

今後とも、ゼネラルとゼネラル GRANCAST の両社は、それぞれの特性を活かしながら連携を深め、社会インフラの発展と人々の暮らしを支え、安心・安全な地域社会の実現に貢献してまいります。

【ゼネラル GRANCAST 概要】

会 社 名	: 株式会社ゼネラル GRANCAST
代 表 者	: 代表取締役社長 浅井 茂樹
所 在 地	: 〒213-8502 神奈川県川崎市高津区末長 3 丁目 3 番 17 号
資 本 金	: 1 億円
事 業 内 容	: 消防機関向け消防通信指令システム、消防救急無線システムなどの開発・提供 地方自治体向け市町村防災行政無線システム、防災情報配信システムなどの開発・提供
事 業 開 始 日	: 2026 年 10 月 1 日

【商標について】

*「GRANCAST」は、株式会社ゼネラルの登録商標です。

お問い合わせ先

報道関係: 広報 www.generalww.com/jp/contact/news.html